

6月-7月のイベント

 親子でつくり工作教室 竹細工「よろずかご」	6/1 日 13:00-14:30	竹を編んで「よろずかご」という、おしゃれなかごを作ります。	要予約 定員:親子6組 料金:100円(高校生以下)
 月イチガク③ 山を撮る ～三瓶山、そして大山隠岐国立公園～	6/14 土 14:00-15:30	浜田市在住の佐々木俊和氏に、レンズを通して伝わる三瓶山の魅力とその風景を追い続けている思いを伺います。※オンライン参加無料	要予約 定員:会場20名 料金:入館料
 きっずサンデー	6/15 日 7/20 日	島根県の「しまね家庭の日」にあわせ、きっずプラネタリウムやテンピーとのふれあいなど、キッズ向けイベントが満載の1日。※保護者同伴で小中高生無料	定員:なし 料金:入館料
 さわってみよう♪ わくわくワゴン	6/22 日 7/27 日	普段はさわることができない標本ですが、この日はワゴンに乗って登場!楽しいお話で生き物の不思議にせまります。	定員:なし 料金:入館料
 さんべの森たんけんたい 初夏の森であそぼう	6/29 日 10:00-12:00	三瓶ダム周辺の親水公園で川遊びや生き物観察を楽しめます。対象:幼児～小学生低学年を含む家族	要予約 定員:親子8組 料金:1人100円
 月イチガク④ まぶCool!! ～天然冷気で酷暑に喝!～	7/12 土 14:00-15:30	坑道や洞窟から冷気が噴き出るメカニズムを日常生活に応用できないか、実際の事例も含めて紹介します。※オンライン参加無料	要予約 定員:会場20名 料金:入館料
 親子でつくり工作教室 レインボースコープ	7/13 日 13:00-14:30	光を分けるシートを使い、虹がシャワーのように散つたり集まつたりするスコープを作ります。	要予約 定員:親子6組 料金:100円(高校生以下)
 夏の夜の昆虫観察	7/19 土 19:00-21:00	夏の夜に活動する昆虫を野外で観察するイベント。トラップをつかって虫を集めたり、三瓶の森の中を歩いて、昆虫たちの生態を観察します。	要予約 定員:40名 料金:大人500円 高校生以下:300円
 親子でつくり工作教室 竹細工「紙皿水族館」	7/27 日 13:00-14:30	紙皿や磁石を使って、水の中を魚が泳いでいるようなおもちゃを作ります。	要予約 定員:親子6組 料金:100円(高校生以下)
 教員のための博物館の日	(サヒメリ会場) 7/29 火 (アクアス会場) 7/31 木	教員を対象にしたイベント。博物館の効果的な学習利用法や授業に役立つワークショップを2つの会場で行います。	要予約 料金:無料 定員:25名(サヒメリ) 50名(アクアス)

三瓶自然館:0854-86-0500  三瓶小豆原埋没林公園:0854-86-9500  三瓶山北の原キャンプ場:0854-86-0152
(さんべ縄文の森ミュージアム)

※要予約マークのイベントは1ヶ月前より電話にて予約受付を行います。

※イベントが変更・中止の場合はHP等でお知らせします。※毎週土曜日の天体観察会は予約制(HPから、その他はお電話)で実施しています。

※4~11月の毎週土曜日「北の原お散歩ツアー」、日曜日・祝日「天文ミニガイド」は入館された方を対象に予約不要で開催しています。

島根県立三瓶自然館サヒメリ

○開館時間:9:30~17:00

○休館日/毎週火曜日

※7月22、29日は開館いたします

(火曜日が祝日の場合は翌平日)

年末年始、その他、メンテナンス休館あり



三瓶フィールドミュージアムニュース <隔月発行>

編集・発行 公益財団法人しまね自然と環境財団

〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根1121-8

TEL 0854-86-0500/FAX 0854-86-0501

<エコサボしまね> 〒690-0887 島根県松江市殿町8-3 TEL 0852-67-3262

しまね自然と環境財団は、三瓶自然館等の指定管理者です。
エコサボしまね(松江事務所)では、地球温暖化対策等の事業を行っています。

Sanbe Field Museum News

さんべ発!

No.190

2025年5月号

島根県立三瓶自然館 ニュースレター



三瓶山のブナ

新緑ごしに差し込む木漏れ日に目をひかれて上を見上げると、ブナの幹の力強さと緑の鮮やかさに圧倒されました。

ここは三瓶山の北斜面を登る「名号登山道」の標高 900m付近。この高さあたりの三瓶山の森はブナが主役です。試しに幹に腕を回してみると、ようやく半分まで届くかどうかという太さ。何十年、あるいは 100年を超える年月をこの地で過ごして来たのでしょう。

少し冷涼な気候で育つブナは、三瓶山では

標高 800mを超えると目につくようになります。縄文時代の噴火でできたであろうこの山の頂近くまで、ブナはどうやって登ってきたのだろう。立ち並ぶ木々を見あげてそんなことを想像するものの、それ以上の考えには及ばず再び歩きはじめました。

今のペースで気候の温暖化が進むと、将来、ブナは中国地方の山からはほぼ姿を消すと推定されています。この森はどこへ行くのか。腰を据えて考える必要がありそうな問題です。

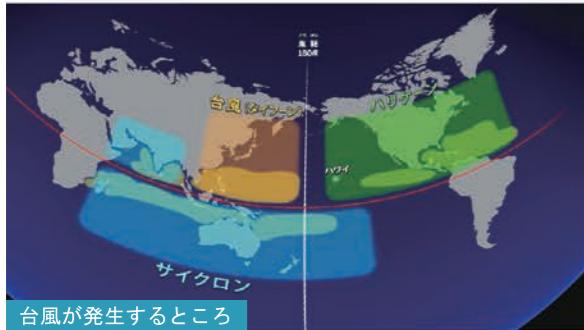


01

プラネタリウム新番組 台風～天体が生み出す大気の渦～

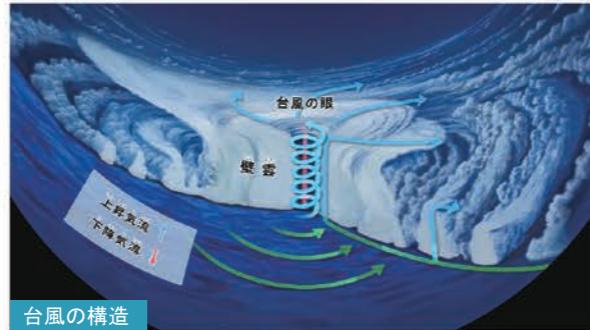
台風が生まれる場所

台風は、日本から2,000キロメートル以上離れた熱帯の海で生まれます。南の海では、太陽によって海が暖められて海水が蒸発し、大量の水蒸気に変わっています。水蒸気は、上昇気流に乗って上空に運ばれ、積乱雲へと発達します。次々と積乱雲が発生することで積乱雲が集まり、中心に気圧の低い低圧部ができます。低圧部に向かって周囲から風が吹き込み、最大風速が毎秒17メートルを越えた時、「台風」と呼ばれることがあります。



台風の構造

発達した台風の中心部分には雲がない「台風の眼」ができます。眼の周りは積乱雲による分厚い雲の壁「壁雲(かべぐも)」が取り囲んでいます。壁雲の内部は上昇気流が発生していて、水蒸気を上空に運んでいます。一方、台風の眼は下降気流となっているため、雲は発生しにくく、風も弱くなります。そのため、「台風の眼」の中に入ると、台風の中心でありながら、晴れて青空が広がることもあります。

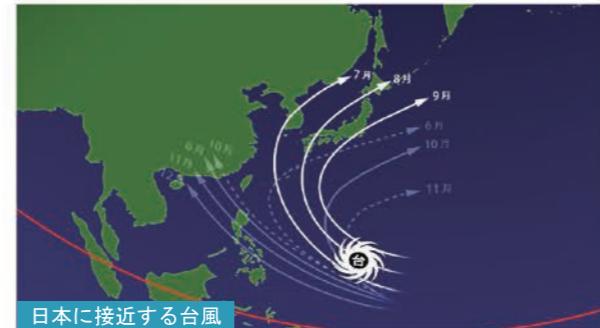


日本に接近する台風

台風は、自分では動けません。ヨットのように、上空の風に流されて動いていきます。その風の向きは季節によって変わり、7月から9月にかけてはちょうど日本の上を通るコースをたどることになります。夏に日本にやってくる台風が多くなるのは、このためです。北西太平洋では、1年間におよそ26個の台風が発生します。そのうち平均では、12個ほどが日本に接近し、約3個が上陸します。台風は、被害をもたらす一方で、水不足が続く日本にとっては、めぐみの雨にもなっています。

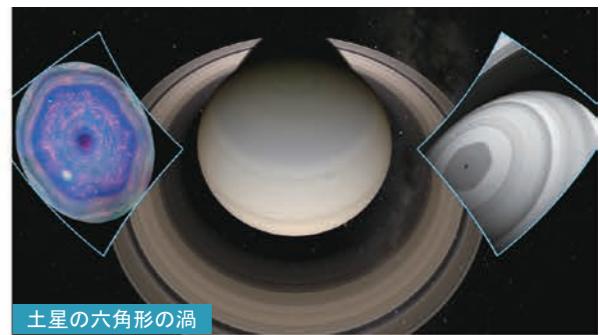
近年は、気温や海水温が上昇する地球温暖化が起きています。地球温暖化によって台風の勢力が増すこ

とで降水量は増加し、強風域も広がっていくと考えられています。それは台風による災害が増えていくことを意味しており、台風の進路を予測する気象観測や被害を減らすための研究が続けられています。



太陽系の惑星で見られる大気の渦

火星や木星、土星でも台風のような大気の渦が観測されています。土星では、探査機カッシーによる調査が行われ、その中で、土星の北極付近では六角形の形をした渦が発見されました。この六角形の渦がどのようなメカニズムで発生しているのかは、まだ解明されていません。



三瓶自然館では「台風」をテーマにした番組を制作しました。地球最大の渦巻現象である「台風」。この巨大な渦は、地球の自転と大気が生み出しています。一方、太陽系の惑星にもさまざまな巨大な渦が発生しています。番組では、台風をはじめとする天体が生み出す大気の渦を紹介します。ナレーションは、「機動戦士Ζガンダム」カミーユ・ビダンや、「ちびまる子ちゃん」丸尾くんとたまちゃんの父の声優・飛田展男さんです。

(学芸課天文事業室 矢田猛士)

02

三瓶自然館インタークリーター養成講座 サヒメルで活動するボランティア募集！

三瓶自然館では、インタークリーターという博物館ボランティアが活動しており、本年度はその養成講座を開講します。6月～年度末までの全10回を受講することで、ボランティアとして登録いたします。活動は自然観察会での解説、館内での演示、動植物調査の補助、天体観察や工作教室の指導など様々です。学芸員と一緒に自然の不思議や素晴らしさを伝えてみませんか。

募集期間

(学芸課 安藤誠也)

2025年(令和7年)5月31日(土)まで

講座期間

2025年6月～2026年(令和8年)3月まで

申込・問い合わせ

三瓶自然館インタークリーターの会 事務局

(電話) 0854-86-0500

QRコードをスマートフォンで読み取ると詳細情報
を見ることができます。

